

環境・社会課題への取り組み

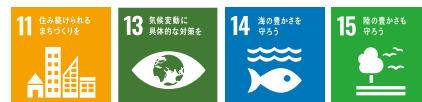
当会は、「食と農」を基軸とするJAグループの一員として、持続可能な社会の実現に向けて、環境・社会課題への取り組みを積極的に行っています。

▶ 脱炭素経営支援に関する取り組み

● TCFD提言への取り組み

当会では、気候変動がもたらすリスクや機会に対する理解を深めつつ、課題解決に向けて取り組むこととしており、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）が提言する気候変動に関する財務情報開示の枠組みに賛同し、開示を行っています。

※TCFD提言にもとづく開示内容は、当会のホームページ（<https://www.jamie.or.jp/shinren/profile/tcfd.html>）でご確認ください。



● サステナブル・ファイナンスを通じた環境・社会課題解決への貢献

当会では、環境・社会へ影響を与える特定の事業等への投融資に関する取組方針（ESG投融資方針）を定め、グリーンボンドやサステナビリティ・リンク・ローンへの投融資を通じ、ESGに関する課題解決に取り組む企業を金融面から支援しています。



● 脱炭素社会の実現に向けた支援

当会では、令和7年5月に株式会社フェイガーと「包括的連携に関する協定」を締結いたしました。本協定にもとづき、県内農業分野におけるカーボンクレジットの創出支援を通じた「脱炭素農業」の推進や、収益化による農業者の所得向上を目指し、カーボンニュートラル実現に向けた施策検討をはじめとする各種取組に連携して取り組んでいます。

また、温室効果ガスの排出量削減に寄与する乾田栽培を基本とした「マイコス米」について、栽培を検討する生産者や事業者に対し実証実験を支援するなど、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを多角的に展開しています。

